

第12回 青梅市公共交通協議会

基本計画推進状況について

平成26年2月21日

1. 市広報紙による公共交通の利用促進について

年末年始に公共交通機関を利用しましょう

年末年始は、買い物やレジャーなどで外出が多くなります。また、忘年会や新年会などお酒の席も増えます。

市内は、電車やバス、タクシーが運行しており、便利です。運行情報の提供やドア・ツー・ドアの機動性など、きめ細かいサービスが充実しています。この機会に公共交通機関をご利用ください。

「青梅市公共交通ガイド」を作成しています。市役所や市民センターなどで配布していますので、ぜひご利用ください。

ただ、青梅市公共交通ガイドを制作しています。市役所や市民センターなどで配布していますので、ぜひご利用ください。

お問い合わせ 企画調整課

乗って守ろう！使って育てよう！公共交通



「広報おうめ」平成 25 年 12 月 15 日号 (51,500 部発行)

2. 転入者MMIについて

平成 25 年 10 月から、青梅市への転入者(世帯)に対し、公共交通利用案内と青梅市公共交通ガイドを配付し、転入者モビリティ・マネジメントを実施している。

また、効果把握のため、同時にアンケート調査を実施した。

転入異動届出件数

単位:件

10月	11月	12月
258	199	227

■転入者MMのアンケート結果

①実施目的

転入者 MM の効果を把握するため、一部の転入者を対象にアンケートを行った。

②実施方法

転入届窓口で、市の転入者向け配布物、「青梅市公共交通ガイド」、「青梅市へようこそ！（動機付け情報）」と一緒に配布、後日郵送回収

③実施期間

平成25年10～12月

④配布件数

500件

⑤回収件数

10件

→他の配布物の量が多く、MM関係の資料をバラで配布したため、他の資料に紛れてしまったおそれがある。

⑥アンケート結果

- 設問2:動機付け情報については、「環境」「健康」とも理解していただいた割合が高く、公共交通を利用した方がよいと感じた割合が高かった。
- 設問3:青梅市公共交通ガイドについては、市内の公共交通の使い方を概ね理解していただいた割合は高いものの、情報量や見やすさについては更に改善が望まれることがうかがえる結果となった。
- 設問5:改善点の指摘
 - －時刻表と路線図(停まるバス停、行先)の関係や、路線図自体がわかりづらい
 - －ベビーカーでの乗車方法やバリアフリー情報があるとよい
- 転入者に対して公共交通利用を勧める転入者 MM の取り組みは、一定の効果がうかがえることから、今後も継続していくことが重要と考えられる。

設問1 青梅市へ転入後、外出時には主にどのような交通手段を利用しますか。

①平日



②休日



設問2 『青梅市へようこそ！』を見て、どのように思いましたか。

①クルマばかり使うのは、あまり「環境」によくない。



②クルマばかり使うのは、あまり「健康」によくない。



③クルマ利用は控え、できるだけ公共交通を利用した方がよい。(自分がどうするかは別として)



④できるだけ公共交通を利用するようにしたい。(自分自身の行動で)



⑤どのような時に公共交通を利用したいか。

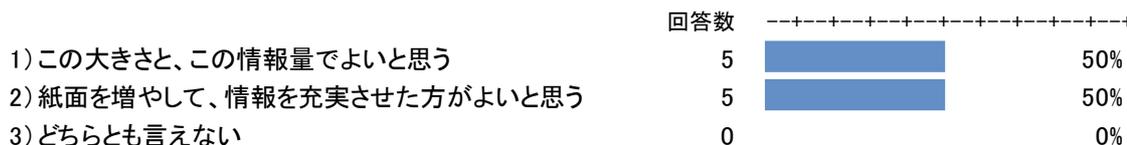


設問3 『青梅市公共交通ガイド』を見て、どのように思いましたか。

①青梅の公共交通の使い方について



②紙面の大きさと、時刻表や路線図などの情報量について



③文字の大きさや図の見やすさについて



設問4 あなたの性別、年齢、職業、クルマの保有について教えてください。

①性別



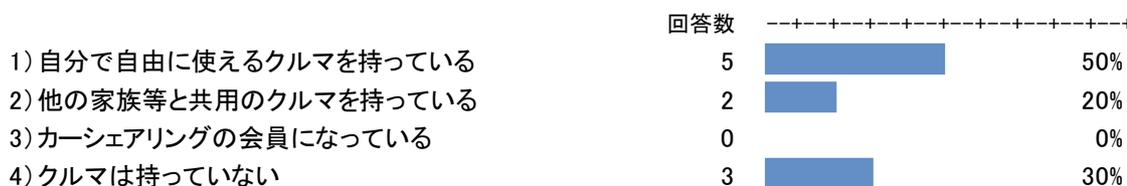
②年齢



③職業



④クルマの保有



設問5 『青梅市公共交通ガイド』や『青梅市へようこそ！』について、見づらいところやこんな情報がほしいなど、ご意見・ご感想をご記入ください。

- バスの時刻表の横に、停車駅案内もあると良かった。
路線図と見比べると、めんどろだしわかりづらい。
まだ地理がよくわからないので、それは地図を見た方がわかりやすい。
両方あると良い。
- 他の市にはない、とてもよい資料です。役立てたいと思います。
- 路線図が見にくい。本数とバス停の案内が少ない。
他所からの移転なので、目的地へのバス路線がわかりづらいです。
- 転入し、クルマがないため、交通などの情報は大変ありがたいです。
地図などを見て、改めて青梅市を学ぶこともできました。
子供がまだ小さくベビーカーを利用していますので、バスは便利ですがバリアフリーかどうかかわからず、そこが利用に少し躊躇してしまいそうです。(ベビーカーが10kg程なので)

参考: 動機付け情報

乗って守ろう！
使って育てよう！
公共交通



青梅市へようこそ！

～市内公共交通のご案内～

青梅市内には、多くのバス路線とJR青梅線が運行されています。

これらの公共交通を利用すれば、駅や病院、買物など、いろいろなところへ行ることができます。

青梅市に転入されてきたみなさまに、この公共交通の情報をお贈りします。

ぜひ、お出かけの際は、青梅の公共交通を使ってみてはいかがでしょうか。

クルマは便利で快適な乗り物です。

でも、あえて公共交通をおすすめするのは、こんなわけがあるからです。

公共交通は
地球環境にやさしい

公共交通は
健康を増進

公共交通は
気軽に快適

あなたも、クルマと公共交通を、スマートに使い分けて*みませんか？

※『スマートに使い分ける』とは、日常生活の移動をクルマだけに依存するのではなく、目的や行先、体調、曜日などにより、公共交通や自転車を『かまこく』使い分けること

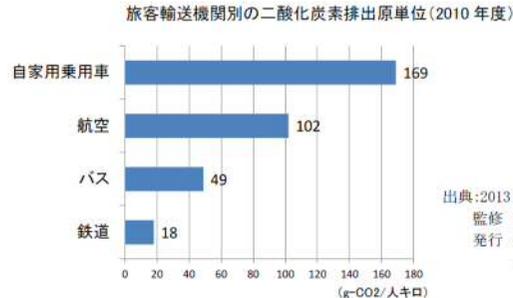
理由 1 公共交通は 地球環境 にやさしい

地球温暖化の原因になるのが二酸化炭素です。

1人を1km運ぶ際の二酸化炭素排出量は、

自家用乗用車と比べると、鉄道が約1/10、バスが約3/10と少ないのです。

だから、公共交通は地球環境にやさしいのです。

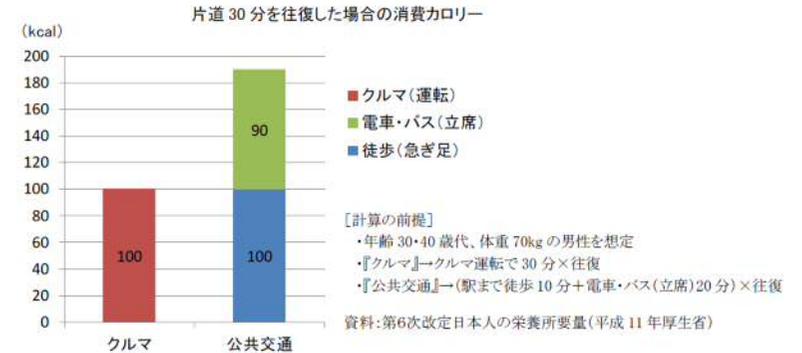


理由 2 公共交通は 健康 を増進

クルマは座ったままで楽ですが、そのぶん消費カロリーも小さいのです。

公共交通を使えば、消費カロリーは大きくなります。

だから、公共交通は運動不足の解消と健康増進に役立ちます。



理由 3 公共交通は 気軽 で 快適

青梅警察署管内の交通事故(人身事故)は、年間700件以上(1日平均2件)

発生しています。クルマの運転は慎重に、細心の注意を払いましょう。

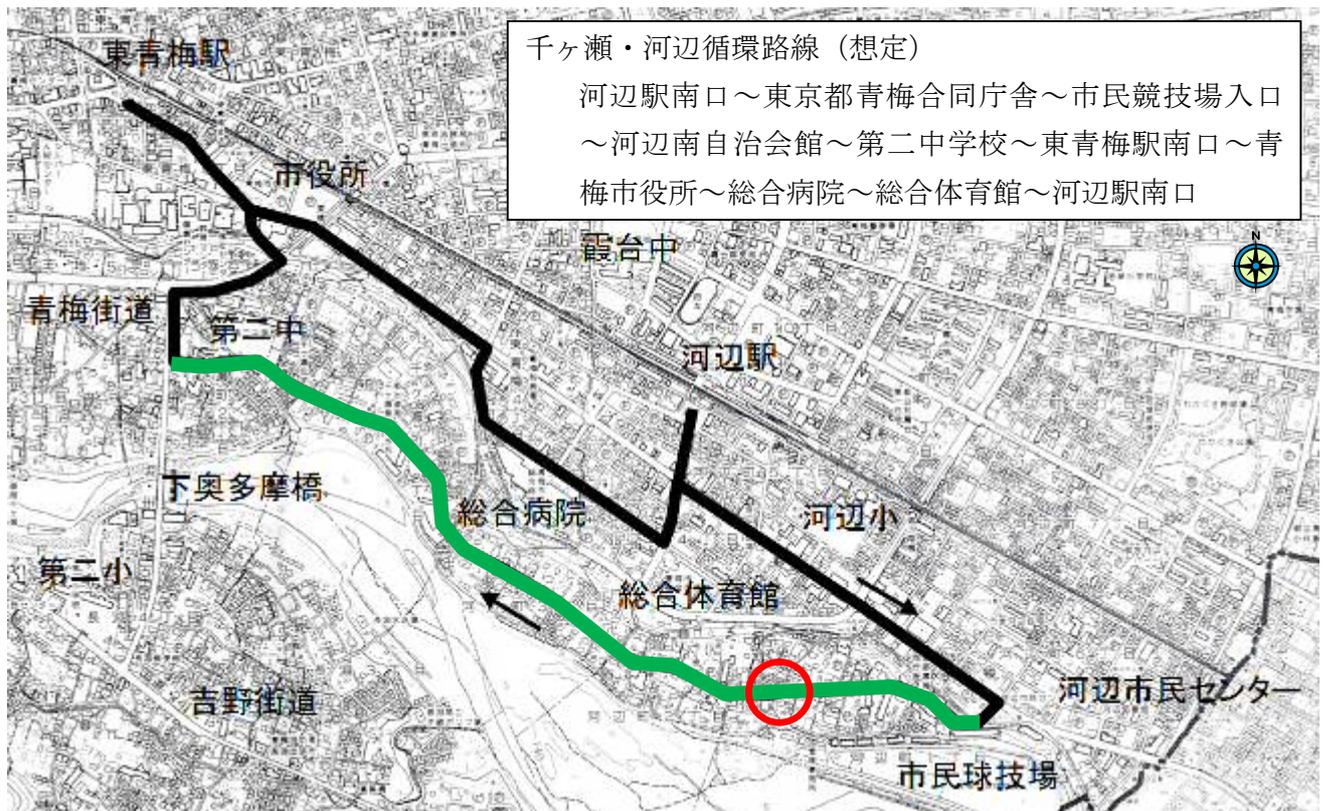
でも、公共交通を使えば、自分で運転する必要がありません。また、本を読んだり、

メールをチェックしたり、いろいろなことをしながら快適に移動できます。



このほかにも、公共交通を使うと、車内やバス停で交流が生まれ、子どもたちが社会のルールを学ぶ場にもなります。そして何よりも、クルマを使えないお年寄りや学生さんの足である公共交通を、将来的に維持・継続していくために役立つのです。

3. 河辺下地区における公共交通空白地域解消の取組について



○ 道路環境の改善

- ・ 特に狭小な交差点について拡張改良工事を施工
- ・ 路肩をカラー舗装化し、歩行者の安全を確保しながら、車両制限令に定める車道幅員を確保

<参考>

○ 都営バスの減便について

平成26年4月1日からすべての系統において減便が実施される。全系統を平均し15%ほど減便となる予定である。

○ 西東京バスの減便について

平成26年4月1日から明星線(河13:河辺駅南口～明星大学)において、10%ほど減便となる予定である。

○ 西東京バスのバス停新設について

平成26年4月1日から、西東京バスの三ツ原循環線(小02・小03:小作駅東口～小作駅東口)において、バス停が2か所増設予定である。